

2021年
2月

県内景況・確報

◎概況

県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが停滞し、厳しい状況にある。

●2021年2月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



ふつう

建設関連



ふつう

観光関連



悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

2月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回りました。既存店ベースは前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は2ヵ月連続で前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

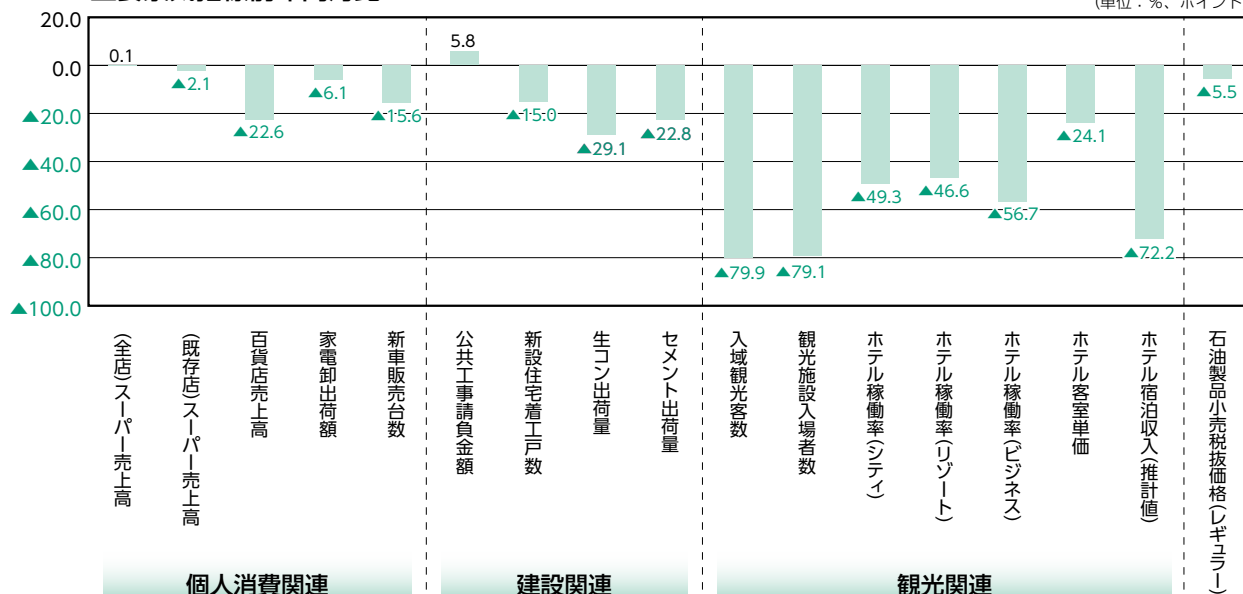
観光関連では、入域観光客数は14ヵ月連続で前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入（推計値）は下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は一部に弱さがみられ、建設関連は弱含みが続いており、観光関連は下押しの動きがみられることなどから、**「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが停滞し、厳しい状況にある。」**と景気判断を下方修正しました。

(2021年2月から下方修正)

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





個人消費



(ふつう)

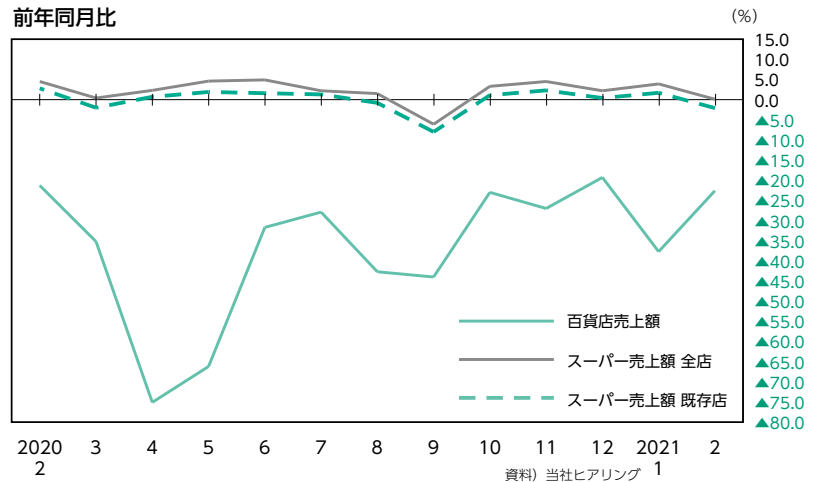
① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

2月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比0.1%増）」は、新規出店効果などにより、「食料品（同1.8%増）」が伸び、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース（同2.1%減）」は、前年に比べ営業日数が1日少なかったことから、5ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同0.6%減）」

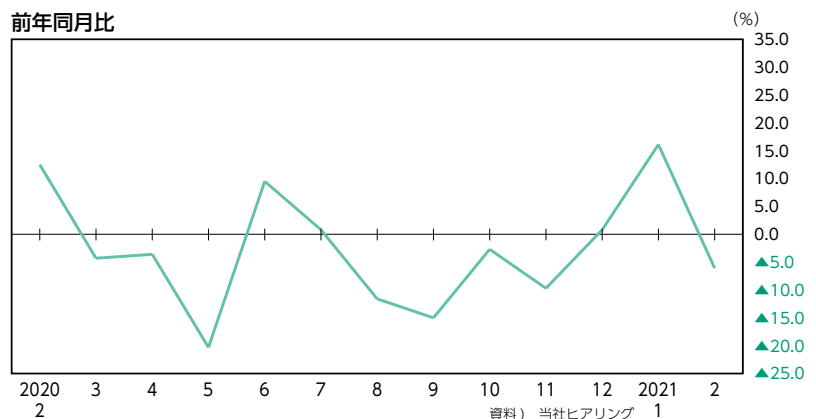
は、引き続き巣ごもり需要がみられるものの、前年に比べ営業日数が1日少ない影響により、前年同月を下回りました。「衣料品（同12.2%減）」は、営業日数の影響に加え、緊急事態宣言の発出による外出自粛および不要不急の買い物を控える動きが見られたことなどから、前年同月を下回りました。「家庭用品（同4.0%減）」は、パソコンや空気清浄機等の家電や、マスク等の衛生用品は伸びたものの、化粧品などの需要が減少し、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、緊急事態宣言下での消費マインド低下により来店客数が減少し、21ヵ月連続で前年同月を下回りました（同22.6%減）。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品（同27.1%減）」は、外出自粛や不要不急の買い物を控える動きが見られたことなどから、前年同月を下回りました。「食料品（同19.8%減）」も、来店客数の減少などにより前年同月を下回りました。化粧品等の「雑貨（同20.4%減）」は、インバウンド需要の減少により、前年同月を下回りました。



② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は3ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

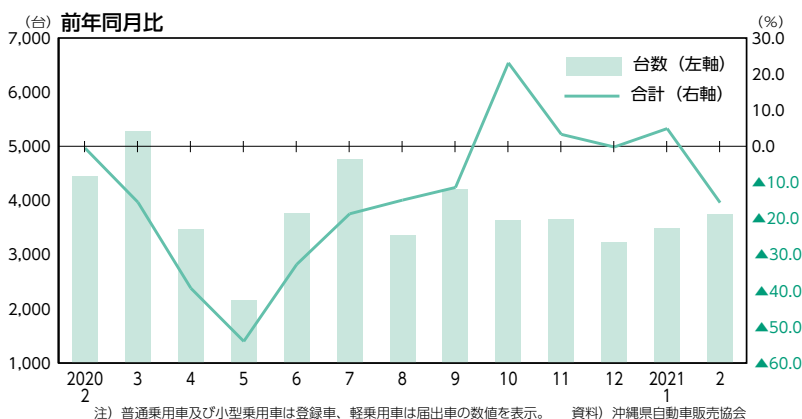
家電卸出荷額は、前年に大型工事等により伸びた反動から、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました（同6.1%減）。品目別では、「エアコン（同3.0%増）」、「テレビ（同13.0%増）」、「冷蔵庫（同22.9%増）」、「洗濯機（同21.2%増）」は、新商品の発売や、キャンペーン効果、巣ごもり需要の増加などから前年同月を上回りました。一方、業務用家電などのその他家電は、前年に工事関係の需要により伸びた反動から、前年同月を下回りました。



③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で3,745台（同15.6%減）となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「軽乗用車（同8.1%増）」は伸びたものの、「普通乗用車（同0.4%減）」、「小型乗用車（同57.3%減）」は前年同月を下回りました。いずれも自家用車需要は増加したものの、レンタカー需要が大きく減少したことから、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



建設関連

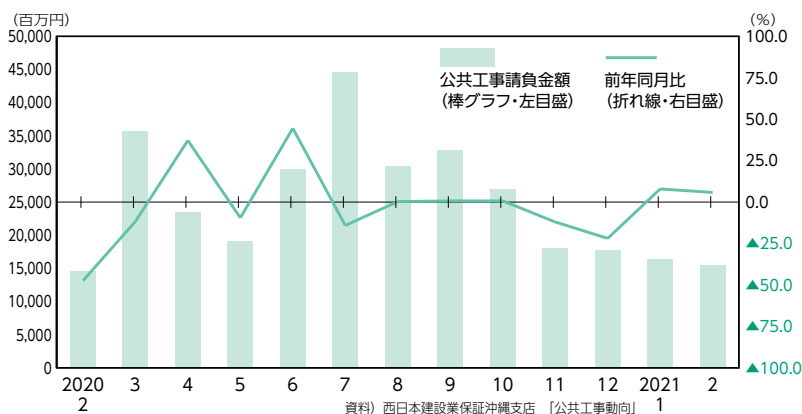


（ふつう）

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

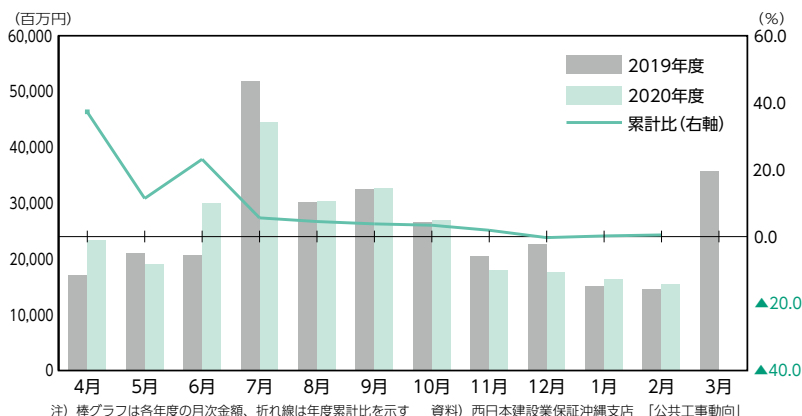
2月の公共工事請負金額は、前年同月比5.8%増の154億4,800万円となりました（2ヵ月連続増）。

発注者別でみると、「その他の公共的団体（同1,928.4%増（約20.3倍））」や「独立行政法人等（同1,390.6%増（約14.9倍））」は前年同月を上回りました。一方、「沖縄県（同40.2%減）」や「市町村（同13.2%減）」、「国（同1.1%減）」は前年同月を下回りました。



【参考】公共工事（年度累計）…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

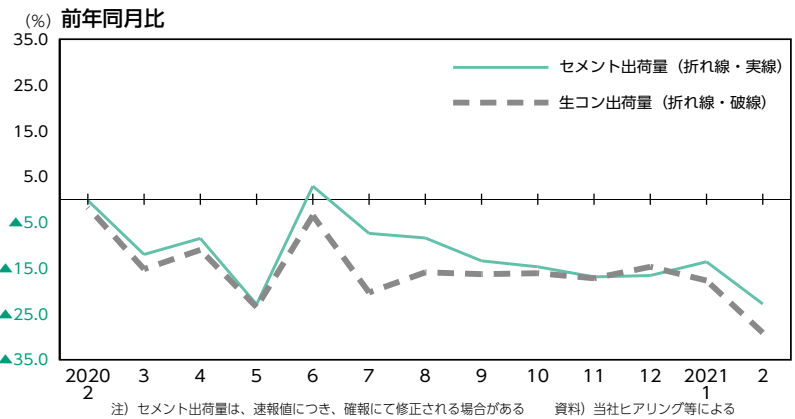
今年度累計値では、0.5%増となっています。





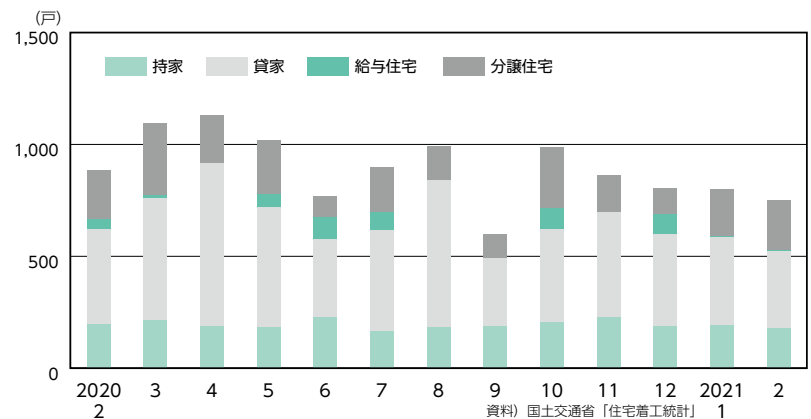
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は29.1%減と13ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、離島地区における庁舎関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より21.7%下回り、民間工事向けは、中南部地区における住宅関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より33.1%下回りました。セメント出荷量は22.8%減と8ヵ月連続で前年同月を下回りました。



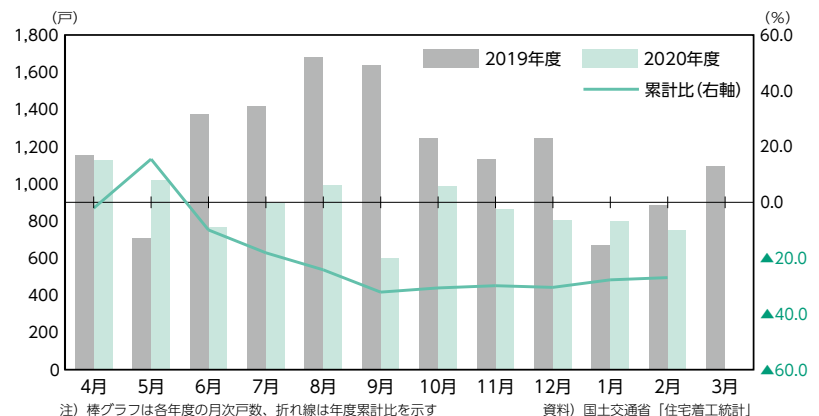
③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

2月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比15.0%減の751戸となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家（同19.3%減）」のほか、「給与住宅（同93.6%減）」、「持家（同7.7%減）」は前年同月を上回りました。一方、「分譲住宅（同3.7%増）」は前年同月を上回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

今年度累計値では、27.0%減となっています。

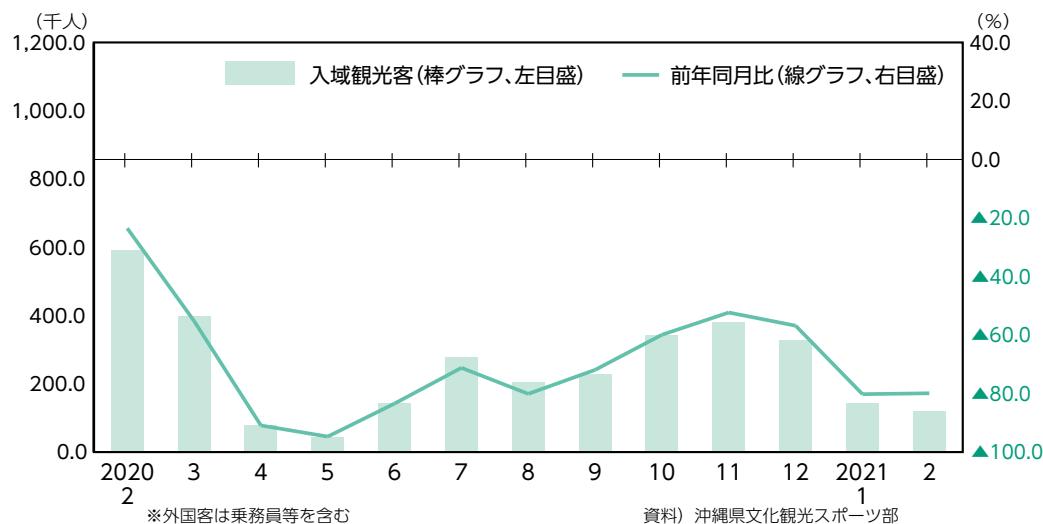


観光関連

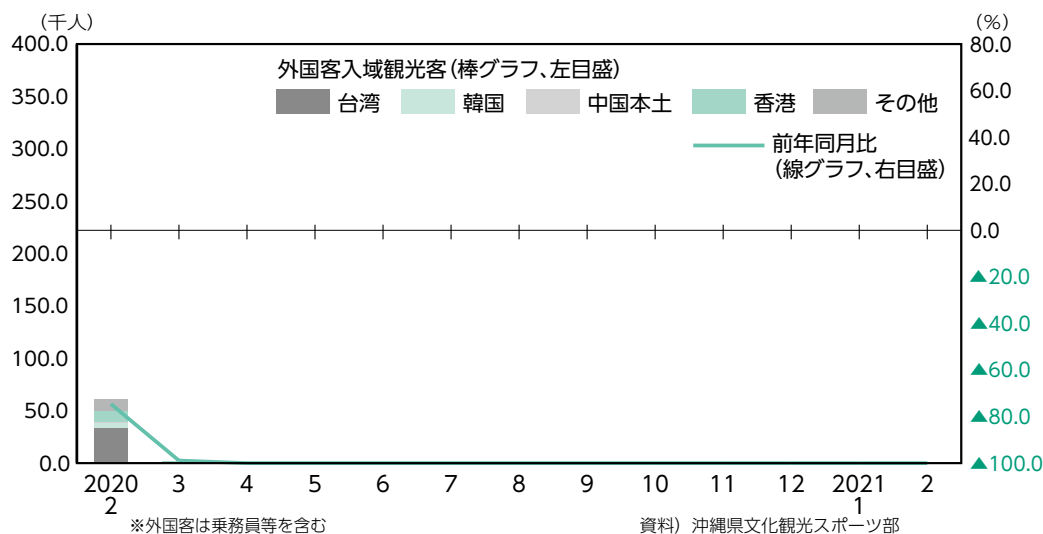


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…14ヵ月連続で前年同月を下回る。



外国客 入域観光客数…14ヵ月連続で前年同月を下回る。



2月の入域観光客数は、472,100人少ない118,800人（前年同月比79.9%減）となり、14ヵ月連続で前年同月を下回りました。

内訳をみると、「国内客（同77.6%減）」は、118,800人と13ヵ月連続で前年同月を下回りました。

2月は、航空路線での運休・減便規模が拡大していること、また、国や県独自の緊急事態宣言が継続された影響などから、前年同月を大きく下回りました。

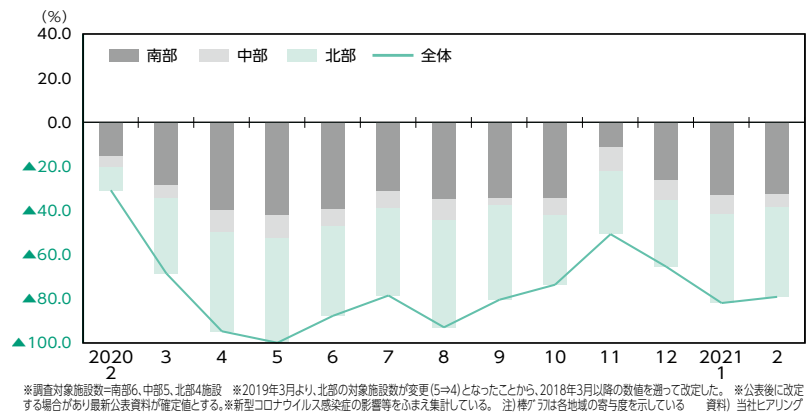
他方、「外国客（同100.0%減）」は、0人となり14ヵ月連続で前年同月を下回りました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から、観光目的での日本への入国制限措置がとられたことなどから、皆減となりました。

「台湾（同100.0%減）」「韓国（同100.0%減）」「中国本土（同100.0%減）」「香港（同100.0%減）」



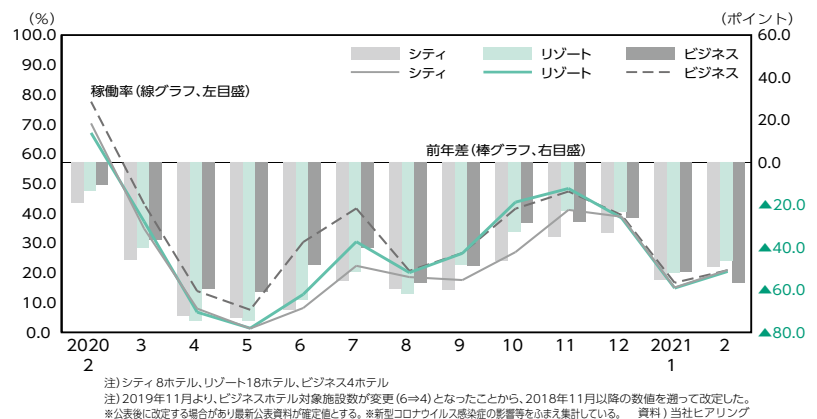
② 観光施設入場者数…19ヵ月連続で前年同月を下回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より79.1%減少(19ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同90.4%減と19ヵ月連続、中部は同75.9%減と14ヵ月連続、北部は同72.5%減と19ヵ月連続で前年同月を下回りました。



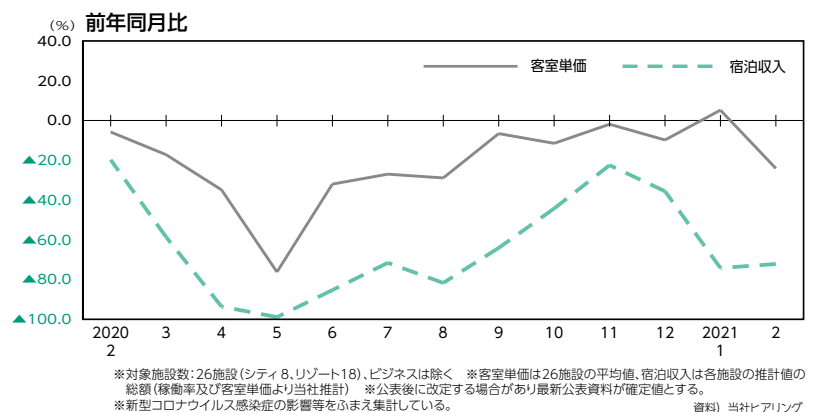
③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが21.0%と49.3ポイント減少(20ヵ月連続)、リゾートホテル20.5%と46.6ポイント減少(21ヵ月連続)、ビジネスホテルが20.9%と56.7ポイント減少(19ヵ月連続)しました。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は下回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比24.1%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**は同72.2%減と前年同月を下回りました。





企業倒産

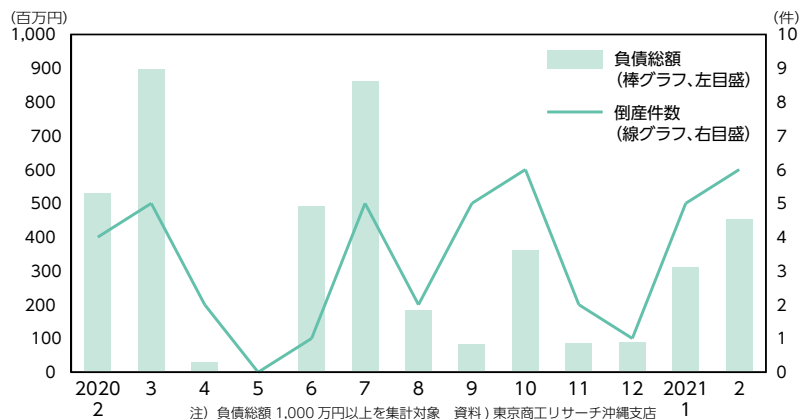


(やや良い)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

2月の企業倒産件数は、6件（うち大口倒産は1件）となり、前年同月より50.0%上回りました。

負債総額は4億5,400万円となり、前年同月より14.3%下回りました。



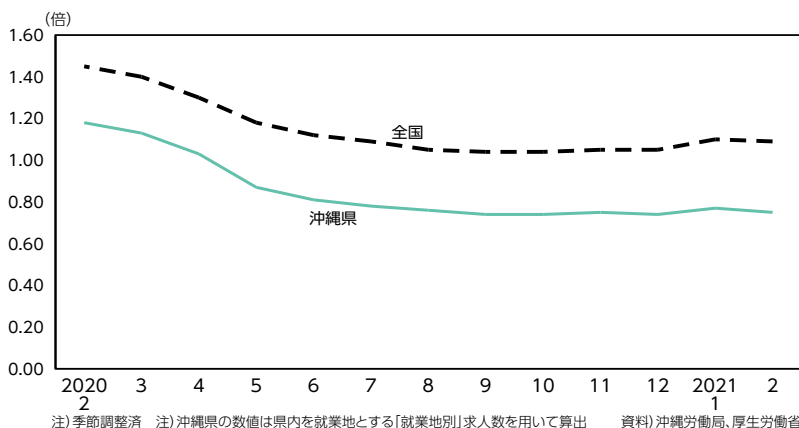
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前月より低下。

2月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比0.8%減の23,069人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比1.9%増の30,727人となり、**有効求人倍率（季節調整値）**は0.75倍と、前月より0.02ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄は前月より低下、全国は同水準。

2月の完全失業率（季節調整値）は、3.7%となり前月より0.2ポイント低下しました。

